

2023年12月1日

「令和5年度 渡島圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会」  
開催にあたって

地域づくり推進員 湯浅 弥

普段の業務から思うこと

成年後見（成年後見・保佐・補助・法人後見・未成年後見人）  
教育（北海道教育大・日本福祉大・各種専門学校・高齢者大学等）  
その他 社会福祉士会 高次脳機能障害家族会・当事者会  
家事調停委員 保護司 篤志面接員 入口支援(弁護士・検察庁)  
渡島圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会推進委員  
七飯町高齢者保健福祉計画策定委員  
函館工業専門学校 スクールソーシャルワーカー

社会の中で「潜在化」している「生きづらさ」を抱えている方々の多さに驚き

彼、彼女らを巡る状況

基本、日本の社会保障(広く福祉の制度)は申請主義なので、申請しないことにはことが始まらない  
多くの生きづらさを抱えながらも、そのことを、言葉にして、社会に訴えなければ何も変わらない

遅れている日本の「福祉」の捉え方

権利としての福祉

意外と？重い…私たちの役割

「生きづらさ」を改善していくために、何が弊害になっているのか？その弊害を取り除く為に何ができるのか？しなければならぬのか？を検討、実践していく